

「風土會」創立宣言

風は

遠くから 理想を含んでやってくるもの

土は

そこにあつて 生命を生み出し育むもの

君 風性の人ならば

土を求めて吹く風になれ

君が土性の人ならば

風を呼びこむ土になれ

土は風の軽さを噛み

風は土の重さを蔑む

愚かなことだ

風は軽く涼やかに

土は重く温かく

和して文化を生むものを

大地の表面と 大氣の底面の接するところ

我等の眼前に厳存する接触面

あるのに呼ぶべき名前がない

「そこを風土と名付けよう」

と 三澤勝衛がいった

そこに 宿区

大地だけでもなく

風 土 舎 小

大気だけでもない

第三の存在が生ずる

生物

人間をも生み出した生命

生物は

そして人間も

風土が生み出した自然総合体だ

人には風の性と 土の性がある

動くものと 動かないもの

自由を求める風の魂

魂を掴む土の力

魂を耕せばカルチャー

土を耕せばアグリカルチャー

理想を求める風性の人

現実に根を張る土性の人

集って風土の文化を生もうとする

ここに「風土舎」の創立を宣言する

主宰 玉井 袈裟男

小諸応援談

小諸市の農業・農村へのメッセージ、小諸への提言等を小諸に関わりのある市外の方たち、市内の方からお寄せいただきました。ありがとうございました。

これらのご意見を話し合いの素材としたいと思います。また、市外の方たちには引き続き小諸の応援をしていただけるようお願いをしたいと思います。

メッセージ（順不同・敬称略）

○小諸市特派員・埼玉県北本市

山崎 克也

- 1 農産物をはじめ、小諸市周辺で生産される物産を掲載した総合カタログを作成し、全国の小諸出身者等を通して配布する。
- 2 また、大都市において“産地フェア コモロ”を開催し、物産品の廉価による展示即売会や小諸の伝統ある催事を取りおこなう。（カタログを同時配布）

地域の活性化は、都会とのネットワークの構築から…

○東京都新宿区

浪漫亭 鈴木 繁夫

佐川急便もバブル崩壊も農林行政すらも関係のない地方の方々が手切れ金の1億円をもらってさあ勝手に起きて来いと放り出された平成世代。東京なんて向かずに地方の方々がスクラムを組んで胸を開いて元気に快活に自然いっぱい大地に足を踏ばって楽しく仲間づくりをされることに快哉を叫びます。小生も時間があつたら皆様の応援席に座りたいのですが前日から四国徳島愛媛を講演旅行が入っておりまして誠に残念ですが出席できません。

信州は日本人の心のふるさとであり屋根のない病院であります。山の国らしい発想のもとにあたらしい立場を築きあげて下さい。ご盛会を祈ります。

○(株)河野メリクロン東京支店

桜間 智彦

むらづくりこもろ放俺夢 '93の開催おめでとうございます。私共が洋蘭シンビジウム栽培の理想の地として小諸を選び四国徳島から農場を開いて5年過ぎました。澄んだ空気と水、そして素晴らしい太陽の光を得て理想的な蘭が育ち、花開いております。

小諸も他の例にもれず開発が進み、農業の兼業化も進んでいるようですが、現実にあるマイナス要因をすべてプラスに吸収変化させて現実に即した農業の形態にこそ新しい農業発展があると思います。それは栽培や経営のシステム化や輸送力の発達や情報化をフルに活用した特産地作り、人脈

作りなどです。そのためには「農業関係者」だけの話し合いのみならず様々な分野の方と自由に語り合える場と環境作りをすることが「むらづくり」の土台作りになり、様々な問題を提起され、素晴らしいアイデアも出てくると思います。

皆様のご尽力に敬意を表します。

○小諸市特派員 東京都三鷹市

大井 喜久夫

こもろのお米 こもろのそば
こもろのやさい こもろのりんご
こもろの桃 こもろのぶどうとワイン
ほんとにおいしい！ だいすきです

○小諸市特派員 埼玉県上野市

こもろのさくらんぼ こもろの洋梨
こもろのきびもち なつかしい！
何よりも いつもあたたかく迎えてくれる
こもろの人々が 大好きです

○小諸市教育委員会栄養士

中山 千嘉代
市内の小中学校の給食では、地元で収穫し、新鮮で農薬の少ない安心し

て食べられるおいしい野菜を農家の方々に作って頂いて早5年目になろう
とじています。

最近は、生産者、品目も増えつつあり1年目が14品目10%の納入量
でしたが、4年目の実績は、25品目に及び、野菜が31%、芋類が45
%、果物27%と増えましたが、規格・収穫量・生産者不足などの課題が
あり、また流通体制にも無理な面があります。更に定着をさせ、軌道に乗
せるためには、生産者を増やしたり、学校と生産者との対応、規格、収穫
量、種類の調整など総合的に調整（生産から納品まで）できる方法、例え
ばセンター的なシステムのある場の設置が可能になれば、学校だけではなく、
地域全体の中で対応ができるのではと考えます。

ぜひそのようになるよう働きかけて頂くようこもろ放俺夢に期待致しま
す。

○広島県新市町新市公民館

平井 悦夫

ひと足お先に、今年も「^{みりよくにんげん}未力人源交流マーケット」を2月27日（土）
の夜7時から翌28日（日）の朝7時まで連続12時間の人間マンダラを
展開しました。東京、埼玉、神奈川、静岡、愛知、滋賀、大阪、三重、兵
庫、鳥取、山口、岡山、愛媛、そして広島県と一都一府十三県から120
名の魅力的な人たちが集まり、熱気ムンムンの一夜となりました。

来年はこもろ放俺夢とパソコン通信で双方向の情報交換をリアルタイム
でやってみたいですね。夢のジョイントをやりましょう。

○市内諸 田中 久水

5年前の雪害でぶどう棚がやられたあと45aの畑にサクランボを7種類植えました。指導を受けに山形まで通い、ようやく収穫できるようになりましたが販売をどうしたらいいかと思っています。(種類、レッドブローリー、高砂、ナポレオン、佐藤錦、夏香錦、サミット、レーニア)

○市内古城 信濃農園(有) 村上 知

当社はジャムを製造していますが、地梨を栽培してくれる人もしくは採ってきてくれる人を捜しています。

○上水内郡中条村むしくら共和国

伊藤 陽一

93こもろ放俺夢開催おめでとうございます。私は91に御招待を頂きまして、あの細長い会場を人々が埋め尽くし熱気溢れた討論が行われましたことをつい昨日のここのように、今も尚私の脳裏を去来しております。

どんなことも継続することに意義があります。特にむらづくりは終わりのなきシナリオにも等しいものではないでしょうか。花火で終わってしまったのは淋しいです。

2月28日、お隣の「望月町農業フェスティバル」に招かれて90分ホラふきをさせてもらいお世話になりました。

○飯田市役所商業観光課

高橋 寛治

以前何かの本の中に「大根の新種をつくる場合、根っこが大きければ大きいほど人間にはすばらしい。しかしそれは奇形をつくっている。」との一文がありました。このように「すばらしい」の価値判断は一方的であることが多く、ときの強者から見て相手の「すばらしさ」につながる事が一般的です。あくまで自分がどまんなか、「ムラからのメッセージ」を大切にしたいものです。

御盛會を……

○小諸市特派員・(財)長野経済研究所

小林 巖夫

物事を成功に導くためには、まずイメージとか夢を作りしっかり固めてゆくことがまず求められましょう。リーダーとはこうした夢を作り、それを実現して行くための具体的なプロセスを創造してゆく人だと思います。

市役所や各団体の皆様は地域のリーダーです。夢を作りフォーラムを具体的なプロセス創造のための研究場面と位置づけ、そこで語られる生活者の知恵をまちづくりに活かしてゆくことが大切でしょう。

まちを作るのは、まさにその地域に生活する人々の熱き思いであり、フォーラムがそれをぶつけ合う場になることを祈念します。

5年前の雪害でふと 大塚 直久

当社は昨年「小諸市内滝原の低農薬米と同じく諸の湧水、弁天の泉を使用して仕込んだ、純小諸産の清酒、浅間嶽」を造りました。お陰様で、大変好評で、昨年分は、すでに完売となり、現在は、今期醸造の新酒を出荷しております。また当社では、何年か前から、北御牧村の前の村長さんから依頼を受けて、御牧ヶ原の白土ばれいしょで、「牧」という焼酎を造っております。これもなかなか評判が良く、村の名物の一つになっています。生産量はともにたいしたことはないのですが、地元の良質で安全なものを使用して、製品を作ってみようという発想からできたものです。今後、当社としては、低農薬か、無農薬で、しかも有機肥料を使用した酒造好適米が、そう沢山でなくとも小諸で生産されれば有り難いと思っております。

最近消費者は、話題性があり、安全で、新鮮な地元（地方）のものを求めるようになってきているようですので、これからはそうした観点からの農業が、ますます、試みられる必要があるかと思えます。また折角地に良い産物があるのに、それが知られていない、また、うまい使われ方がなされていないために、生かされていないということが往々にしてあるようです。地方的特長があり、質の高い作物を生産する農業生活者が、それを求める、製造業者や流通業者と出会うことができれば、それは双方にとっての幸せです。従って、これからも是非本日のような機会を多く作られるよう期待致します。

いずれにせよ、本物作りとは、作る努力とともに、楽しみがなければならぬであろうと思えます。やりがいのある、楽しい農業を目指して頑張られますよう祈念申し上げます。

○市内中松井 塩川酒店 塩川 義知

総合小売店として野菜も扱っております。いつも市場などで思うことは、去年白菜が良かったとすると、次の年は白菜が過剰供給となります。このような目先の情報で物を作るのではなく、もっと長い計画をもって農業をしてほしいです。有機農業を目指すと、その時は大変であっても、生き残って伸びていくためにもはっきりしたビジョンの上に立ってほしいです。私もそろそろそういった野菜をと思っています。スーパーなどではやれない商売を目指したいと思います。

○市内本町 (有)富士屋醸造 清水 克彦

小諸で生産された低農薬の大豆と米を使用して「こだわりのみそ」が製造できたらおもしろいなど考えています。

○小諸市福祉事務所 栄養士 鎌田 峰子

年々自給率が下がり、スーパー、小売店さらに私達の食卓にも輸入食品が並び食品の安全性について大変不安な毎日です。

保育所給食は乳幼児の食事を提供していますが、地元の生産者の方の顔の見える新鮮な低農薬野菜が導入できるよう生産者の皆さんの御検討をお願いします。

さらに、スーパー、小売店にも『市内〇〇さん生産の野菜』と表示されたものが早急に並ぶことを希望します。

小諸の農業が安全・安心な「食」のリーダーとなり地場産業の発展を導いて欲しいと願っています。

これからの農業のあり方も探ることができる、そんな市の将来をみんなで考え合いたい。

○大阪府茨木市

（有）コムニス 佐藤 眞生

食は命の元です。いま、その食に手間も時間もかけなくなっています。作る人と食べる人という分類が間違っています。食べものをすべて金で買うのが間違いです。金で買う人がいるから、売れるものだけをつくるようになります。身土不二を無視して、旬を無視して、儲けようとします。

食はその土地で、その季節にできるものを、感謝の心でいただくのが最も自然です。恐らく100キロ圏で自給自足するのがいいのです。農業ではダメだと思えます。農的生活が必要だと思えます。

食の本質について、いい議論をして下さい。

○市内相生町 北原 龍明

時は今、全国的に街の活性化、農村に於ける村おこし、古き良き時代を懐古する倉の街づくり、街並等百花繚乱の趣さえ感じられる盛況さです。

それぞれの会、グループ、研究会等はどれも真剣にテーマと取り組みそれなりの成果は上がっているようですが残念な事に単組の中での討議であり研究に終始しているような気がします。かく言う小生も街づくり研究会へ参加しているのですが……。それぞれの単組を横一列に並べてそれを繋ぐパイプを通し大きな組織にそろそろ衣替えをする時期に至っているかと思われます。

○市内菱野 〓 むすび屋 〓 唐木田 〓 利子 〓

小さな味噌屋、豆腐屋を営んでいます。国内産の原料を使って来ましたが、近年、価格、量とも不安定になってきており、特に今年は昨年の不作もあり、入荷不可能もしくは高騰というところまで来てしまいました。今まで農産物の流通についてはいろいろ関心はあり、産直や共同購入などしたこともあります。しかし、家庭の台所と生産者の関係とは違った一年を通しての原料仕入となると個人の力量ではなかなか大変です。

特にどんどん大規模化する流通機構にはどうしようもありません。このままいけばますます国の自給率を下げることをくやみつつ輸入物を使うか、手軽には買えない高価な豆腐をつくるか、どちらかを選択しなければなりません。

大豆、米づくりはいろいろな問題が含まれていますが、いよいよ生産者との連携をつよめて契約栽培について考えていかなければならないと考えています。

○国民医療研究所

依田 発夫（小諸厚生総合病院）

いま、担当者の努力と、それを支える生産者の皆さんの協力によって「安全な食べものを」という小諸市の学校給食の実践は市民の誇りといってもよい。

このとりくみをもっと発展させ、農協なども協力体制をとり、市をあげての特長ある事業にしていくことも不可能ではない。

そのことが近隣の自治体にも広がり、視察もくるし、農家の生産物の注文もくる。決して夢ではない。子供たちの健康を守ることに貢献しつつ、

行政主導型でも民間主導型でも今がチャンスではないでしょうか。“鉄はあついうちに打て”の至内因。さまざまの営みと並んで、歴史和が古小井不の平和が平和の辞、ひまうきうとがの宝交不もと量、辞論、平政、依合。さうまひまうて来がまふこととるも観高おうじは道何不商人、ひあは

○飯山市長 小山 邦武

むらづくりこもろ放俺夢の御盛會を心からお祝い申しあげます。ご自分達の“むら”です。先人から受け継いだ“むら”の宝物を守り育て、小諸らしい地域づくりをなさって下さい。

注文：農免道路の景観保全をお願いします。県下でも数少ないほどすばらしい景観です。飯山市でも3月6日同じ時間に「飯山市農業を考える集い」が開催されます。お互いに頑張りましょう。

○小諸市特派員

東京都練馬区 小山 邦明

これから20～30年にわたって小諸を訪れる大きな変貌を考えると、今こそ小諸では、「将来の小諸」の望ましい姿に、市民全てが大きな夢を持って取り組まねばならないと思います。

小諸が直面している今後10年ばかりの特に急速な変化を考えますと、もう時間的余裕はありませんから、小諸をどういう形で理想的な街にするかを、周辺地域の今後の在り方・国全体の発展との関わり合いの中で慎重に取り決め、決められた目標に向かって、力を合わせて進まねばなりません。それには、目先に囚われた総花的施策から離れ、将来を見通し得る機関の設立と、それによる方向の調査・決定、それに基づく市民の合意形成が出发点となります。

具体的には、市長さんの私的諮問機関としての「小諸市将来構想調査委員会」といった機関の設置です。委員には、市民各層つまり各業種・各職業の中から、事情に通じしかも意欲ある方々を、老若男女を問わず委員としてお願いし、同時に必ず全国規模で見て一番尤もと思える専門家または専門機関に委員就任と事務の推進をお願いせねばなりません。専門家または専門機関に委員就任を依頼し、事務局を担当してもらう事は、とかく目先・総花的になり勝ちな地元だけの人間関係を止揚し、客観的・長期的な将来展望を得るための必須条件です。そこで、地元の志のある方々と専門家が、市長さん・市役所を中心に一緒になり、農業・商業・工業・教育等々、周辺地域との関連をも重視した「市民の生活面から見て」、最もバランスのとれたハイグレードでゆとりのある「小諸創り」を目指すのです。

幸いに「ふるさと創生資金」にはまだかなりな余裕があるとか。小諸の理想的な街づくりは、20～30年にわたっておそらく数百億円を要する大事業となるでしょうから、ふるさと創生資金の残金は、その名前から言っても、また金額の規模からしても、これに全てを投ずるのが最も応わしいのではないのでしょうか。

在郷有志の奮起を望みます。

○埼玉県与野市

(財)与野市ふるさと振興機構

田中 義政

「小諸」と聞くと、まず私自身が思い起こすのは島崎藤村の詩です。数年前、小諸J.Cの皆さんに呼ばれ話をしたことがあります。今、全国の多くの市町村では、“まちづくり” “むらづくり” “人づくり” というこ

とで、さまざまなフォーラム等を開催していますが、まだまだ日光の手前というのもたくさんあります。フォーラム等は一種の“きっかけづくり”です。このきっかけをもとに、今後いかにその情熱や行動力を継続（したたかに）していくかが最大の課題となります。そのエネルギーは簡単に言えば“こだわり”です。どれだけの人たちがどれだけ小諸というまちにこだわるのか、そしてどう行動するのか、理論→実践へ、そしてそれはまさにその人の“心の持ち方”一つです。今回踏み出した一步を大事にして、次なる一步へ。

フォーラム開催おめでとうございます。参加したいのですが、3月議会と研修のため出席できず残念です。がんばって下さい。

夢とロマン、そして感動！！

○千葉県流山市

都市・地域プランナー 水島 孝治

「こもろ」。この響きと懐かしさは何物にも替え難い財産だと思えます。旅人の想像を裏切らないで下さい。

何かが動き出しているようにお見受けしました。しかし「こもろ」に意地でもこだわって下さい。固有名詞を忘れ去ろうとする町が多すぎるからです。

放俺夢の成功を祈ります。

○自治省大臣官房情報管理官室

古川 康

カンボジアでもアンゴラで国づくり、地域づくりというのはおんなじでした。住む人が考える。住む人が行動する。外国の援助に頼る政権が長続きしないように、外来のものにすぎる地域づくりもうまくゆかないと思います。

今度のフォーラムもおもしろそう。キーパーソンがいいですね。作る側と売る側のイコールパートナーシップこそが今求められているのだと思います。

○千葉大学工学部教授 大河 直躬

小諸は、城下町・北国街道の宿場として、とても歴史的な遺産に恵まれた町です。本陣や小諸城址や大手門だけでなく、これからいろんな新しい発見があると思います。

また、古い建物や風景だけではなく、私たちのふだんの生活のなかにも、歴史のなかで生きてきたすばらしいものがたくさんあります。

今回の小諸フォーラムが、それらのすべてを掘り起こして、地域の皆さんの心をつなぐ運動の新しい出発になることを心から祈ります。

○マンズワイン(株) 藤原 恒久

私は、'88年から'91年の4年間小諸で企業活動を致しておりました。その間塩川小諸市長さん等多くの皆様に事業に対するご協力をいただきました。心から感謝申し上げます。今回のフォーラムに開催にあたり一

言メッセージを送らせていただきます。

小諸市は、天下の浅間山を背に、眼下に千曲川を眺望する懐古園を中心とした風光明媚な土地柄を有し、歴史ある町として発展されていると思います。近づく長野オリンピックをひかえ長野は世界中が注目しております。この際小諸市はこれらの特徴と農産物を生かした町づくりで長野県における観光と歴史ある経済都市としてピーアールされることを期待致しております。

○(株)地域計画研究所 内海 宏

今年のフォーラムのテーマは「人・物・情報のネットワークづくり」という連絡を受けとり、感じた点を2、3！

①今年のフォーラムの目標として、市内でフォーラムに参加しむらづくりを荷える人材のストック（面白人間、集合！というような）を作成、第三者や私たち都市人にネットワークできる具体的な成果をめざしてほしい。

②更に、私たちが小諸と具体的な関わりを継続できる「物」や「場所（リゾート等の楽しみが味わえる）」などを情報発信してもらいたい。会議みたいなものでなく、「会員制」「産直」等のビジネスにつながるものや、その芽があるものなどが最善でしょうか。

③主管課が農林課内であっても、教育委員会、文化担当、医療、福祉、自然保全等の他のセクションとの協調展開をめざして欲しい。専門性の枠内だけでなく、組合せの妙で新しい展開や展望が開けるかも知れないヨ。またそうしないと幅広いネットワーク化が図れないだろう。

○NHK長野放送局 土屋 士子 風のこすけりく人、くくさま

ディレクター 小林 晶子 市の形は舞臺の子見物をもてぬのき
外国人労働者が急増している現状を正面からきちんと見つめ、彼らも取りこんだ地域づくりを考えてほしいと思います。いつまでも「小諸なる古城のほとり…」のイメージを追いつづけても、将来はないのではないのでしょうか。

○下水内郡栄村 島田 伯昭

今、雪も1.5m程となり、力なきものとなりましたが、これ又四季の演出にかかせない下水内郡栄村よりのメッセージです。「農村のおもてなし」を核とした心からの交流をめざす栄村のアクィユペイザンを夢見て、65才～75才位の11名の仲間と共に春を待ちわびております。

栄村の大地を住み家としてとけこみ、古代米、炭やき、押し花、ワラ細工、豆、米、野菜、山菜等、生産採取をしながら農村のおもてなしをし続けようというのがアクィユペイザンであります。ちなみに私の役は人のゆりおこしと、村の通訳というところでしょうか。都市人も田舎人も農山村の大地と人に接し、皆賢者へのすみかの発見であります。貴市のフォーラムに参加できれば楽しいと思いますが当日諸用の為残念であります。ありがとうございました。

○兵庫県浜坂町役場 笹谷 浩二

国際化、情報化、高齢化…社会と何か見えにくい状況にまちや、人、自身の存在感さえ惑わされるこのごろです。

今まちづくり、人づくりにそこの風や土、「風土」を生かすことに気づきつつありますが、それは終わることのないまちづくりの営みの原点ではないでしょうか。したたかな信濃のとりくみが自治や教育のなかに生かされていることが見えてくるようです。（玉井袈裟男先生を思い出します）

30数年前に接した信越線車窓からの千曲川の情景は今も強く残っています。時を経ても変わることのない清い流れでしょうネ。「むらづくりこもろ放俺夢 '93」のご成功を祈りつつ、その情熱を次の世代につなげていってください。（こもろまちからの発信を大切にしながら、私も但馬浜坂まちの課題に迫っていく行動をつづけます。）

○市民運動全国センター 須田 春海

アースディからはじまっていまでは環境自治体づくりにとりくんでいます。そのネットワークもやっと国際的になりました。ぜひ、小諸市も自治体のネットワークに参加して下さい。

「風土舎」宣言。すばらしい詩文です。硬い表現でいえば「開発と環境」というテーマが短いなかに歌いこまれています。

世界中で悩みつづける「開発と環境」のあり方、その小諸市版調和システムを創造して下さい。

○地方自治総合研究所 内田

自治制度の見直しをともなう分権論がさかんになえられるようになってきています。いま、私たちの生活やなりわいのありようを具体的に検討する中で、自治の単位や権限のあり方を明らかにしていく必要性を強く感

じます。 東京都科学振興会 武田 佳音 野 田 保 員 藤 岡 龍 宗 ○

元気や出会いや気づきに加えて、都市へ、全国へ、具体的な提起が醸し出される“放俺夢”となりますよう期待するところ大です。

○北安曇郡池田町 赤井 鬼介

小諸出てみにゃ明日が見えぬ

見える眼鏡は外にある

木村熊二も藤村さまも

ちょっと外からきたよそもんだ

風のもてきた力の種を活かすも殺すも土の精

上田花さく小諸は困る 困りぬいたら智慧が出る

浅間山さえ涙でくもる

晴れる話を放俺（裸）夢で

○京都市 大歳 昌彦

小諸のどこに泊まってなにを食べたらいいのか具体的なイメージがわいてきません。「小諸名人名物図鑑」みたいなものがあれば友人を誘って「小諸に行こうよ」と言えるのですが。

祝 むらづくりこもろ放俺夢 '93 「継続は力なり」。事務局は大変だけど事務局の配役をしっかりとこなして下さい。大成功をお祈りします。

○衆議院議員 羽田 孜

むらづくり、地域づくりに、小諸市民の皆さんの手づくりで、放俺夢‘93が開かれること、嬉しく思います。3月末には中央道長野線豊科～更埴間、上越道藤岡～佐久間、更埴～須坂長野東間が各々開通します。首都圏や関西方面に向け新たな展がりが見られる中、この新しい時代に小諸が未来に目を向け、歴史と自然を生かした顔づくりに大いに語り、全国に発信されることを期待しています。

ご成功をお祈りします。

○長野県総務部地方課 仁科 英孝

過去の歴史を見ると、変革のエネルギーは、「破壊」と「保守」と「創造」の繰り返しのなかから生まれています。

何かを壊し、何かを創造していく過程から新たな展望が開けます。

今まで自分がもっていたカテゴリーや概念は勿論、イデオロギーや個人的志向の分野に至るまで、自分に付随しているいろいろな「断定」を突き崩し、再構築していくことが必要です。

崩しては建て、崩しては建て、という作業を反復することによって、新たな社会が創造されるのです。

自分と同じ立場だけから発想しているのでは、思考に飛躍がありません。「違い」に喜びを感じてください。

『むらづくりこもろ放俺夢』が、そんな場になるといいですね。頑張ってください。期待しております。

○（財）東京都市科学振興会 武田一佳登

関越自動車道の佐久開通が旬日に迫っています。否応なしに迫る社会経済文化の変容条件を、どのように受け止めて、『小諸』のアイデンティティを保ちながら、地域の質的向上を図っていくか、同郷人として関心を持ち注目しています。

日本列島全体の均質化を嘆き、特に出身者としては“信濃の国”の“小諸”の、新しい個性と独自の文化と風土の構築を期待しています。

その中で、『リゾート生活構想』が一端をにない、にぎわいをもった多様な地域社会づくりが出来ることを期待しています。

でも、放俺夢は破茶目茶・シッチャカメッチャカな論議となり、結論のでないことに意義があるような気がしています。時間をかけてください。

○劇団ふるさときゃらばん 山崎 まゆ美

「大好きな小諸！！がんばれ～」

私は「小諸Oh！援団」の方々を通じて小諸の心を見せていただいた一人です。城下町はとかく閉鎖的になりがちですが、小諸は違いますね。ざっくばらんに言うと世話好き。町づくりにもこの「人が好き気質」を活かして、近所の方にはこうしたら喜ぶという、顔の見える住む人のためのものにして下さいませ。

日本中どこにでも建ってるビルなど建てないでほしいです。

私は小諸のことを宣伝するPRガールと思っています。いろんなこと、これからもお伝え下さいませ。！

大道具倉庫でお世話になっています。次は稽古場かな？！親戚つきあいをこれからもお願いします。

○長野市 著述家（精神文化史）

（仕事場 佐久市） 細萱 秀太郎

佐久の野に立ち、「暗いなあ、暗い時代だなあ」…と、いのちを取り巻く状況を見ます。実に、そこ知れず暗い時代であり、それは豊かな風土が都市化、大工業生産化、物質至上主義によって重い病いにおかされているがためであろう、ために人や、もろもろの生命の存在基盤が根底から覆されようとしている恐怖のゆえであろうと私は考えるのですが、今日、この「むらづくりこもろ放俺夢」のお知らせと、そこにしたためられている「詩」と、開催主旨の「躍る文章」を拝見し、光を感じました。

私は今、乱開発の牙が、いたるところに鋭く突き立てられ、大地が引き裂かれ、山が崩され、緑と水と大気ゆたかな地表がコンクリートと鉄とで窒息させられてゆく一途の佐久市内で、全く農業を使わない米づくりを実践していますが、日々、自然界の病いに震える声を聞くにつけ、小諸市のこのような試みに心から共鳴し、ひびき合っている自分の生命（力）の声を見る思いがします。佐久市のようになるとは、地域の生命も人も衰退します。滅びます。「土に根を持つ、耕す心をこそ、大切に…」

参加者125名中回答17名

問1 本フォーラムの満足度について

大変よかった7名 良かった6名 普通4名

意見

①「業」をはずした村づくり? 「業」をはずしたら国はどうなる?

60才男性

②長谷部さんの具体的な体験にもとづいたお話が胸に落ちるようであった。「口ではなく、物で語れ」「2:6:2の集団力学」

おもしろかった。

44才男性

③今年から集落ごとに盛り上がってもらおうと思っていたところです。とても参考になりました。どうもありがとうございます。「小諸応援談」ネットワークの広がり感じますネ。これからの「こもろ」とも興味あります。楽しみにしています。(浅科は千曲川の上流、隣どおし)住みよいムラ自慢できるムラづくり続けよう。

36才男性

④「物で考えること」「2:6:2の力学」はなるほど。すごい戦略家であるが、楽しんで終いの住みかへのこだわりもっているところ共感、なるほど!(参加者の)発言が具体的で、切実で、課題的で人間的で大変良かった。

46才男性

⑤長谷部氏の「むらづくりはドラマだ」は、全村協力の機会と場を築きあげられた点参考になりました。特にフォーラムキーパーソンの人選において、スーパーマーケット側の掛川氏、生産者側の山浦氏の意見交換は貴重である点感服、双方の「心がまえ」は御見事でした。

76才男性

⑥地に足がついた交流会良かったです。(文幹解) 案並普 29才男性

⑦ネットワークづくりおもしろかった。(市公中) 53才女性

問2 今後もこのようなフォーラムを開き続けていった方がいいと思いませんか。

開いた方がいい16名

開いていく場合どんな企画がいいと思いますか。

①よくわからないが、毎年話し合いながらやったらいいと思う。

44才男性

②小諸の優れた歴史、文学の文化、封建時代の建造物、風光等信州に

③おいて抜群であるだけに、JRの幹線から外された点傷手に見えるが、下手なりゾート化により俗衆の機嫌をとるよりも自然景観の保存と「温かい心配り」をもって『こころのふるさと』を築きあげる企画を壮年層、青年層の献身、熱意により練りあげて頂きたいもの

です。 76才男性

③地元をもう少し知りたいから、地元で活躍している人も。

53才女性

④今回の方法で来年もやってみては。商工会議所の方も多く出てはいかがですか。

60才女性

⑤ネットワークの推進(りはドラマだ)は

きあげられた点参考になりました。特にフォーラムキーパーズ、

問3 交流ネットワーク活動を始めようと準備していますが、このネットワークに加わりますか。

はい8名

(同不願)名

こもろ放俺夢 '93講師、キーパーソン名簿

お名前	ご住所	備	考
長谷部 三弘	飯田市上久堅1206	鎮守の杜風土舎主宰	美人貴 裡太
掛川 興太郎	小諸市本町	(株)ツルヤ代表取締役社長	無類 甲成
山浦 邦博	小諸市耳取	農業	千ハも 謝高
華野 淳	上田市	佐久農業改良普及所	厚田 林直

こもろ放俺夢 '93参加者名簿

(順不同)

お 名 前	ご 住 所	備 考
友野 貴久美	小諸市東雲	小諸 Oh!援団、こもろ放俺夢準備会
加甲 艶照	小諸市甲	
高橋 あい子	小諸市滝原	滝原マザーズ
館林 利男	長野市新諏訪町	
荻原 ひさよ	小諸市滝原	滝原マザーズ
山浦 耕一	小諸市山浦	
田中 とし子	小諸市諸	
小林 郁子	小諸市赤坂	
矢島 純子		佐久農業改良普及所
高村 欣一	望月町春日	
依田 利男	小諸市大久保	こもろ放俺夢準備会
相場 義一	小諸市滝原	農業委員
塩川 松吉	小諸市小原	農業委員会会長
小泉 重好	小諸市御影新田	市職員
掛川 剛	小諸市上の平	市職員、小諸 Oh!援団
跡部 裕之	小諸市御影新田	市職員、小諸 Oh!援団
湯本 正夫	小諸市南ヶ原	市議会議員
小林 富美子	小諸市東雲	小諸 Oh!援団、こもろ放俺夢準備会
鴨志田 英人	小諸市与良	こもろ放俺夢準備会
岩間 基	長野市	21信州むらづくり機構
高橋 とし子	小諸市滝原	滝原マザーズ
田中 久水	小諸市諸	

お 名 前	ご 住 所	用 務 備 考	考 査 場 所
竹内 昭三	小諸市八満中村	中村農用地利用改善組合	千代 新山
有賀 昌嗣	小諸市三島	佐久農業改良普及所	並忠 木新
清水 すみ子	小諸市六唐松	こもろ放俺夢準備会	人昌 白
有賀 和久	小諸市芝生田	市職員	喜茂 新山
土屋 吉正	小諸市赤坂	小諸 Oh! 援団	章 井大
松沢 武一	小諸市松井		大 山八
岡村 篤太郎	小諸市西原		味 新山
高木 蘭子	小諸市六供	市議会議員	一十 原茂
峯村 厚良	浅科村	村職員、万年青年団グリーンウェーブ	
土屋 篤	小諸市芝生田		喜茂 新山
平井 直一	小諸市滝原	J A 長野中央会	三 勤工
大澤 進	望月町茂田井	大澤酒造	市味 歌高
赤井 鬼介	北安曇郡池田町	池田町図書館	九三二 木新
富岡 正樹	小諸市乙	中棚温泉	茂 田村
佐藤 秋子	小諸市滝原	滝原マザーズ	一 茂新
杉山 和夫	小諸市菱野		幸 星土
坂川 由里子		コミュニティテレビこもろ	大 味甘
森 和彦	東部町	建設コンサルタント	文 本新
早川 寿代	小諸市南町	市議会議員	夫 新山
井出 正三	長門町		千 新山
竹内 茂一	東部町		千 新山
小林 峰男	上田市下之	小諸市公民館	志尚 川百

お 名 前	ご 住 所	備 考	考 査 (順不同)
山浦 安子	小諸市東山	手作りパン「エプロン」	三伊 内井
清水 忠弘	小諸市宮沢	市議会議員	
白石 昌人	小諸市大久保	農業委員	千松 木新
山浦 武喜	小諸市大杭		久保 賢吉
大井 章	小諸市東雲	市議会議員	五市 望土
丸山 孝人	小諸市耳取		丸山 孝人
山浦 昭和	小諸市大杭		田大 廣 村 園
荻原 十一郎	小諸市菱野	こもろ放俺夢準備会	千松 木高
望月 正樹	小諸市上の平		望月 正樹
佐藤 多喜雄	小諸市耳取	こもろ放俺夢準備会	河 野 士
工藤 慶三	小諸市軽石		一直 井平
高畑 和市	小諸市東山		高 新 大
柏木 二三代	小諸市一ッ谷		介 康 市 平
依田 芳次	小諸市ひばりヶ丘		梅 玉 岡 高
相沢 啓一	長野市	農文協	千松 勉 少
土屋 孝	小諸市御影	市議会議員	大伊 山 少
甘利 一夫	小諸市和田	市議会議員	千 里 由 伊 政
湯本 義文	小諸市乗瀬		香 伊 森
高橋 達夫	小諸市紺屋町	市職員	丹 藤 川 心
相場 かつ子	小諸市滝原	滝原マザーズ	三五 出 井
小林 満州子	小諸市久保		一 茂 内 井
石川 尚志	東部町	町職員	民 誠 村 小

田中 久木

小諸市

お 名 前	ご 住 所	用 意 備 考	考 査 名
関田 勝好男	小諸市六供	農林課 姫耳市小	出願 謝高
甘利 滋子	小諸市三和	農林課 林市市小	恵文 謝高
小林 慶子	小諸市両神	農林課 林市市小	三謝 山成
萩原 みつ子	小諸市滝原	滝原マザーズ市小	千米 岡富
村上 知	小諸市古城	信濃農園(街)市小	実 口木
清水 茂夫	小諸市八満	市職員 市小	聖真 市小
石塚 克彦	東京都小金井市	劇団ふるさときゃらばん	出願 飛脚
山崎 まゆ美	東京都小金井市	劇団ふるさときゃらばん	英貞 木部
井出 正義	上田市古里	東信ジャーナル市小	八重 琴大
山浦 邦博	小諸市耳取	こもろ放俺夢準備会	出願 林小
宮嶋 佐一	小諸市森山	こもろ放俺夢準備会	浪太誠 川山
八木沢 一雄	小諸市平原	市議会議員 市小	五空 謝高
相原 和美	小諸市新町	市職員、小諸10h!援団	出願 林小
児玉 広志	東部町	町職員 市小	章 飛中
佐藤 美津子	小諸市西原	市小	三三二 鳳十五
佐藤 重	小諸市天池	こもろ放俺夢準備会	志華 出大
柳沢 乃ぶ子	小諸市滝原	滝原マザーズ、こもろ放俺夢準備会	出願 土
掛川 寿夫	小諸市久保	こもろ放俺夢準備会	入時 田成
竹田 昊	小諸市八幡町	市小	定即 林小
山浦 静江	小諸市大杭	市小	五井 謝高美
依田 雄	小諸市諏訪山	こもろ放俺夢準備会	一新 謝山
村山 隆	上田市下之郷	市小	三昇 内立竹

お 名 前	ご 住 所	用 意 備 考	考 査 注
高橋 嗣治	小諸市耳取	市議会議員	朝 関
輪湖 文恵	小諸市市村	東信よみコミ市議小	千 越 味 甘
丸山 陽三	浅科村 大久保	村職員、万年青年団グリーンウェーブ小	
富岡 米子	小諸市諸	市議小	千 越 味 甘
水口 実	小諸市天池	市議小	千 越 味 甘
小暮 真理	小諸市市村	小諸 0h!援団、こもろ放俺夢準備会	
柳沢 重也	浅科村	万年青年団グリーンウェーブ	
清水 良英	小諸市大手	小諸 0h!援団	
大塚 直久	小諸市本町	大塚酒造	
小林 俊弘	小諸市	助役	
塩川 誠太郎	小諸市	経済部長	
高橋 宏征	小諸市	農林課	
小林 裕 二代	佐久市	農林課	
中沢 章 次	小諸市	農林課	
五十嵐 二三男	小諸市	農林課	
大池 孝志	小諸市	農林課	
土屋 勝信	小諸市	農林課	
依田 邦人	北御牧村	農林課	
下村 明宏	小諸市	農林課	
美斉津 邦江	小諸市	農林課	
山浦 淳一子	小諸市	農林課	
竹之内 昇三	小諸市	農林課	

お 名 前	ご 住 所	備 考
依田 好男	小諸市	農林課
土屋 政紀	小諸市	農林課
饗場 道博	小諸市	農林課
池田 剛	小諸市	農林課
田中 一仁	小諸市	農林課
岡村 明博	東部町	農林課
小林 有子	小諸市	農林課
高橋 学	小諸市	農林課
竹重 昌幸	北御牧村	農林課
清水 麻子	東部町	農林課

業 務 課 160 農 林 課 5050 > 5051

農 林 課 農 業 課 小 諸 市 小 諸 市 農 林 課

〒 384 小 諸 市 主 町 3-2-3

TEL 0267 (22) 1700 内 273

FAX (23) 8788

農 業 課 農 林 課 農 業 課 農 林 課

お 名 氏	ご 職 住 所	所 属 備 考	種 別 注
高橋 嗣治	小諸市耳取 縣林業	市議会議員 市議小	民社 田越
輪湖 文恵	小諸市市村 縣林業	東信よみコミ 市議小	民社 星土
丸山 陽三	浅科村 縣林業	村職員、万年青社副社長	民社 船越
眞岡 米子	小諸市諸 縣林業	市議小	民社 田越
水口 実	小諸市天地 縣林業	市議小	民社 中内
小宮 誠司	浅科村 縣林業	市議小	民社 中内
柳沢 重也	浅科村 縣林業	少年青年団 市議小	民社 林小
清水 貞彦	小諸市下千 縣林業	市議小	民社 新藤
大塚 昌久	小諸市本町 縣林業	市議小	民社 車谷
小林 茂弘	小諸市 縣林業	市議小	民社 不取

「むらづくりこもろ放俺夢 '93」記録集

編集発行 小諸市経済部農林課

〒384 小諸市相生町3-3-3

TEL 0267 (22) 1700 内線273

FAX (23) 8766

印刷 信美堂印刷合資会社

塩川 誠太郎	小諸市	農林課	
高橋 宏征	小諸市	農林課	
小林 裕	佐久市	農林課	
中沢 竜	小諸市	農林課	
五十嵐 二三男	小諸市	農林課	
大池 孝志	小諸市	農林課	
上屋 啓司	小諸市	農林課	
赤田 邦人	小諸市	農林課	
山浦 淳一	小諸市	農林課	
竹之内 研	小諸市	農林課	

